

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 20 年度・浮き城のまち景観賞審査委員会（第 1 回）
開 催 日 時	平成 21 年 2 月 10 日（火） 開会：午後 2 時 00 分 閉会：午後 3 時 00 分
開 催 場 所	行田市産業文化会館 2 階・第 2 会議室
出席者（委員） 氏 名	青 木 秀 昭 大 澤 賢 一 郎 嶋 田 浩 滝 沢 布 沙 橋 本 好 司 増 渕 文 男 宮 本 伸 子 （五十音順・敬称略）
欠席者（委員） 氏 名	
事 務 局	（まちづくり推進課）黒沢課長・鶴木主幹・青山主査・西尾主事
会 議 内 容	① 委嘱状の交付 ② 委員自己紹介 ③ 議事 〔制度概要の説明、前年度からの引継ぎ事項の説明、審査対象作品の紹介、委員長および職務代理者の選出〕
会 議 資 料	（資料名・概要等） ① 次第 ② 委員名簿 ③ 規約一式（表彰要綱、実施要領、審査基準、一次審査点数評価表） ④ 資料 1 「制度概要」 ⑤ 資料 2 「審査対象作品一覧」 ⑥ 資料 3 「審査対象作品詳細」 ⑦ 参考資料「これまでの受賞作品」
そ の 他 必 要 事 項	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
(事務局説明)	<p>☆ 委員による審議はなく、事務局説明のみ</p> <p>～ 開 会 ～</p> <p>① 委嘱状の交付</p> <p>② 委員自己紹介</p> <p>③ 議事</p> <p>■ <u>制度概要に関する説明</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料1「制度概要」について、規約一式及び参考資料を用いながら説明。 ・ また、前年度から申し送りや留意すべき点となっていた事項について、口頭で説明（下記のとおり）。 <p>◆ 表彰対象について</p> <p><u>引継ぎ事項</u></p> <p>「建築物・工作物以外に、自然の風景や公共の建築物等についても対象としてはどうか」</p> <p><u>回 答</u></p> <p>自然を対象に含めるとなると、表彰対象者がいなくなるため制度そのものを改変する必要が生じてくる。埼玉県においても、初めのうちはやはり建築物のみを対象としており、何年も回を重ねてきてようやく自然や借景といった話が出てきたとのことである。初めから手広くやってしまうと、結局どっちつかずとなってしまう恐れがある。現行の制度を何年か続けてみた後で、段階的に対象としていくことを考えている。</p> <p>◆ 応募作品の有効期間について</p> <p><u>引継ぎ事項</u></p> <p>「前年度までの応募作品が受賞する可能性は低いため、応募作品に複数年度の有効期間を設けるのはいかがなものか」</p> <p><u>回 答</u></p> <p>埼玉県と違い、市の場合は分母に限りがあること、また委員の入れ替えによって視点が変わることなどから、一度落選したものが必ずしもダメだとは言えない。有効期間は3年間として設定した。</p> <p>◆ 審査の時期について</p> <p><u>引継ぎ事項</u></p>

「例えば、季節によって移ろう景観資源というものも数多く存在する。当面の対象は建築物等に限定するとしても、あくまでも「景観賞」なので、審査基準にもあるとおり花や草木といった自然の要素も審査の際のポイントとなる。いつも冬場の審査となってしまうているが、もっと早い時期に開催すべきだ。あるいは、季節ごとの開催としてはどうか」

回 答

何度も審査を実施することについては、委員の負担や謝金等の関係から困難と言わざるを得ない。ただ、確かに真冬の開催は避ける必要があると考えている。今後の課題として、審査時期を春から秋の間に設定できるよう、事務局としてスケジュール管理を徹底していく。

◆ **贈呈品及びPR手法について**

引継ぎ事項

これまでは毎年クヌギ製の盾を進呈してきたが、もっと外からも認識できるものに変えてはどうか。また、市の観光MAPに受賞作品の位置をプロットしたり、景観賞MAPを作成したりするなど、景観賞の存在を知らしめるためにもっとPRに力を入れた方がよい。さらに、市ホームページに景観賞の紹介コーナーを設けるなど、全体的な制度の底上げを図るべきだ。

回 答

予算や事務量の関係などクリアすべき点も多く、急な対応は難しい状況にある。新年度以降、出来るところから順次対応させていただきたいと考えている。

■ **審査対象作品の紹介**

- ・ 資料 2「審査対象作品一覧」及び資料 3「審査対象作品詳細」を用い、各作品の概要について説明。

■ **委員長及び職務代理者の選出**

- ・ 委員の互選により、委員長の選出をお願いしたい。
- ・ 事務局案があれば提示をお願いする。
- ・ 八代前委員長より事務の引継ぎを受けていること、各種委員会等の場における実績等に鑑み、ものづくり大学の増淵先生にお願いできればと考える。いかがか。

～賛成～

- ・ それでは、委員長は増淵先生をお願いしたい。
- ・ 続いて、委員長に職務代理者の指名をお願いする。

(事務局説明)

司会
嶋田委員
司会

司会

増淵委員長
司会

- ・ 建築士として数々の実績をお持ちの宮本委員を指名させていただきたい。
- ・ それでは、職務代理者を宮本委員にお願いします。
- 次回開催予定について
- ・ 各委員の日程調整を経て、後日決定することとなった。

以上